

安全・安心

Safe and secure

大規模な災害への対応や、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す



自主防災組織

地域住民が協力して「自分たちの地域を自分たちで守る」ために立ち上げる組織です。里庄町では設立の促進、活動強化のため補助金を交付しています。



交通安全対策

毎月2回の交通指導や、春・秋交通安全県民運動期間中の早朝街頭指導などの行事を通して、子どもや高齢者を中心とした交通安全の確保と交通事故防止に取り組んでいます。



災害情報伝達手段整備事業

屋外拡声機の一斉放送、スマートフォンアプリ、家庭に設置した戸別受信機を活用し、災害時の避難情報などを町民に効果的に届けることを目的に町制施行70周年記念事業として整備しています。

避難情報を迅速に伝達

町民への情報伝達の中継役となる37分館の分館長にスマートフォンを貸与し、災害時の避難情報などを町民に迅速かつ確実に伝達する仕組みを運用しています。

子ども安全パトロール

地域住民の方が毎日児童の登下校時などに声かけや見守りを行い、細やかな地域の目で子どもたちの安全を見守っています。

町の暮らしには自然と程よい距離感があります。

北には虚空蔵山、南は毛野無羅山に囲まれ、これら山々の間に広がる市街地と、その周囲の田園環境とのバランスが取れた緑豊かなまちです。

また、まちの中心には国道2号が通り、現在さらなる広域的な道路ネットワークの拡充を行っており、都市としての発展のため整備を進めています。



つばきの丘運動公園

緑豊かな自然を生かし、誰もがスポーツに親しみ、交流を深めることのできる都市公園として、町制施行50周年(平成12年度)を記念に整備されたものです。子どもが大好きな遊具を設置した「子ども広場」や健康づくりに最適な「ウォーキングコース」があります。



道路整備

現在、国が国道2号の慢性的な渋滞を解消するため、バイパスである玉島笠岡道路の整備を行っており、県はそのバイパスと現国道2号とのアクセス道路や県道園井里庄線(浜中バイパス)の整備を進めるなど、広域的な道路ネットワークの強化が図られています。里庄町としても、町民の利便性と安全性を向上させるため、町道里見229号線を東へ延伸する町道里見716号線などの道路整備を進めています。



町営墓地「やすらぎ霊園」

四季折々の豊かな緑に囲まれた霊園です。総区画数300区画の墓域は、4㎡、5㎡、6㎡の3種類で構成されています。また、国道2号からのアクセスもよく、町内はもちろん、遠方からの参拝の際にも便利な場所にあります。

公共下水道

平成16年10月から一部供用が開始された下水道は、令和2年3月末の処理区域内人口(下水道を使用可能な人)が7,312人(普及率65.48%)で、水洗化人口(下水道を実際に使用している人)は5,204人(水洗化率71.17%)となっています。快適な生活と美しい自然の共生を図るため、町民の協力のもと、公共下水道の計画的な整備を推進しています。

自然・都市

Nature/city

自然と都市が共生するまち
快適で暮らしやすいまちづくりを目指す